

顔料染めという特殊な 彩色製品が増えています

一般に繊維製品の色は、染料で染められています。最近では顔料染めという新技術が…。

◎繊維を染めることができない色
粒子を顔料といいます

染料とは、繊維の中にしみ込んでその染料の色にするものです。



しかし、顔料は鉱物などの微粒子なので、繊維に浸透することができません。ですから、顔料染めというのは、繊維や生地の上に色の微粒子を樹脂接着剤で張り付けたものということになります。

綿や麻などの製品に加工され、顔料の鮮明な色が表面に現れます。また、古着のようなテイストの表現にも使われています。



◎摩擦で色が落ちやすく、ドライクリーニングに弱い

顔料は繊維の表面に接着されているわけですから、摩擦ではげ落ちやすいこととなります。また、接着剤がドライクリーニング(P)(F)で取れてしまいやすい性質があります。